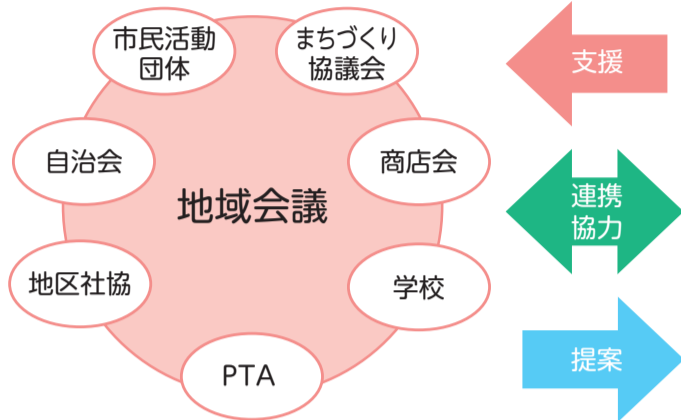


「地域会議」でつくる 地域の輪

「地域の困り事を解決したい」「地域をにぎやかにしたい」「子どもたちが安全で安心して過ごせるようにしたい」「災害時に備え協力する仕組みをつくりたい」など、地域のさまざまな団体が話し合い、つながりを深め、地域のまちづくりに取り組むことは大切です。

市では、コミュニティ活性化の一つの仕組みとして、地域内での話し合いの場「地域会議」の取り組みを進め、現在、5つの地区が取り組んでいます。

☎ 市民活動支援課・内線214



「地域コミュニティ活性化基本方針」を策定し、地域会議の仕組みを通して、地域の特性を生かしたまちづくりを進めています。



8月から、市内の商業施設が少ない地域を巡回する移動販売が開始されましたが、新木地区の地域会議で「買い物環境の支援」をテーマに話し合われたことが一つのきっかけとなりました。

市民の皆様が、地域に関心を持ち、地域の活動に参加し、協力しながら、暮らしやすいまちをつかっていくことは大切なことです。それぞれの地域で活動が活発に展開されることで、市全体がより暮らしやすくなります。

これからも、まちづくり協議会や地域で活動するさまざまな団体の皆様のまちづくりを支えていきます。

市長 星野 順一郎

久寺家地区

合同防災訓練実施のきっかけは、6自治会それぞれの特長を生かし、お互いに補完し合うことで地域全体の防災力を高めようという共通認識でした。他の地域課題でも生かせるモデルではないかと思えます。



6自治会合同防災訓練

共助による防災対策を進めようという機運が高まり、6自治会と地域会議事務局と有志の方々とで合同防災訓練を実施しました。

訓練には約400人が参加し、各世帯で安否確認カードの掲示、班ごとの安否確認、二階堂高校校庭への避難誘導、搬送・救命・救護、水消火器体験、仮設トイレ・段ボールベッドの設置を行いました。

また、災害に対する住民の防災知識・意識の向上を図るため、「防災だより」を発行しています。

本年度は「6自治会協議会」を発足し、地域の防災活動に持続的に取り組むことになりました。



あび北フォーラム (我孫子北地区)

防災対策としてのマイ・タイムライン

地域の共通課題「防災」をテーマに、自治会アンケートから課題を抽出し、防災講習や災害図上演習、避難所視察など、地域住民の防災意識の向上に取り組んでいます。

また、毎年活動内容を小冊子にまとめ、自治会に配布しています。



7月11日に開催した第10回あび北フォーラムでは、利根川下流河川事務所の地域防災調整官を講師に招き、台風や大雨の予報から川が氾濫するまでの行動計画について考える「マイ・タイムライン」の作成に取り組みました。余裕を持って安全に避難するため、各自がいざという時の行動を考えました。

近年、風水害が多発しているため、作成した「マイ・タイムライン」が地域減災の一助になることを期待しています。今後は防災だけではなく、地域の課題を皆さんと一緒に考え、安全で安心なまちづくりに取り組みます。



▲事務局 武藤さん、榎山さん、浅井さん、平井さん



広告

広告掲載枠

会社やお店のPRにご活用ください

規格 縦11.5cm×横8cm

掲載料 1枠2万円(最大3枠まで)

申・問 秘書広報課広報室 ☎7185-1269

広告掲載枠

会社やお店のPRにご活用ください

規格 縦11.5cm×横8cm

掲載料 1枠2万円(最大3枠まで)

申・問 秘書広報課広報室 ☎7185-1269

広告掲載枠

会社やお店のPRにご活用ください

規格 縦11.5cm×横8cm

掲載料 1枠2万円(最大3枠まで)

申・問 秘書広報課広報室 ☎7185-1269